

# 具体的な進め方

みんなで川あそびをしています。どこが危険なかな？みんなで考えよう！



## ☆第1ステップ☆ どんな危険が隠れているのか？状況をつかむ（危険の発見）

- (1) 指導者はKYT（危険・予知・トレーニング）シートを見せて状況を説明する。
- (2) 子どもたちはその状況の中において、危険の要因を発見し「〇〇して××になる」や「△△なので××になる」のように、どんどん発言をして模造紙に書く。

## ☆第2ステップ☆ これが危険のポイントだ！（特に重要なものに重点をしぼる）

- (1) 模造紙に書いたものを読み上げて確認する。
- (2) 特にみんなの「関心の高いもの、重大な事故の可能性のあるもの」を2～3項目あげて、その項目に◎を付ける。
- (3) 全員起立して◎の項目を指差し「危険のポイント××、××、ヨシ！」と唱和する。

## ☆第3ステップ☆ 私ならこうする！（具体的な対策をたてる）

- (1) ◎印を付けた重要な危険要因に対して、「予防したり、防止したりするためには？」一人一人がどうしたら良いかを考えさせる。
- (2) 「私ならこうしよう、こうすることが必要だ」と実行できる対策を考えさせる。
- (3) 一つの◎印に2～3の対策を考え、「グループとしてこうするべきだ」という共通の行動内容を考える。

## ☆第4ステップ☆ 私たちはこうする！（みんなで実行する行動目標を決める）

- (1) グループとして「必ずしなければならないこと」を重点項目として決め、☆印を付ける。
- (2) ☆印は1～2程度とし、その項目をスローガン化して行動目標とする。  
【例】 「〇〇を△△して□□しよう！」というように。
- (3) グループ目標を全員が起立して指差し唱和する。

事業開始前に KYT を実施し安全安心を確保しよう！